



非文字資料研究の過去・現在・未来

第1部 10:00-12:30 「非文字資料研究の10年」

司会：孫安石（センター研究員）

開会挨拶：小熊誠（センター長）

講演 田上繁（客員研究員・元センター長）

「センターの開設と非文字資料研究の可能性」

各研究班からの報告

「戦時下日本の大衆メディア」研究班

安田常雄（センター研究員）

「東アジア開港場（租界・居留地）における日本人の諸活動と産業」研究班

大里浩秋（センター客員研究員）

「近代沖縄における祭祀再編と神社」研究班

後田多敏（センター研究員）

「日本近世生活絵引一行列から見る都市生活空間」研究班

渡辺美季（センター客員研究員）

「絵画・版画・写真に見られる19世紀ヨーロッパの都市生活」研究班

熊谷謙介（センター研究員）

「中世景観復元学の試み—北九州市若松区の惣牟田集落を事例として」研究班

田上繁（センター客員研究員）

ディスカッション

第2部 13:30-15:30 講演

司会：大川啓（センター研究員）

◆「絵折櫃をめぐる—「モノ」の名付けにおける歴史と民俗—」…………… 黒田日出男（東京大学名誉教授）

◆「非文字と非文字資料」…………… 福田アジオ（元センター長・元神奈川大学教授）

第3部 16:00-17:00 総合討論「未来に向けて」

司会：小熊誠（センター長）

パネラー 黒田日出男（東京大学名誉教授）

福田アジオ（元センター長・元神奈川大学教授）

コメンテーター 佐野賢治（センター研究員）

内田青蔵（元センター長）

鳥越輝昭（センター研究員）

閉会挨拶： 佐野賢治

日時：2019年 2月16日（土） 10:00-17:00

会場：神奈川大学横浜キャンパス3号館305号室

開催趣旨

21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」の研究成果を継承し、その後継機関として非文字資料研究センターは2008年4月に発足しました。それから10年が経過しました。非文字資料研究という新たな独特の研究領域を確立し、発展させてきましたが、これに関わる研究員やスタッフもかなり変化して来ています。今回、10周年記念シンポジウムを開催し、非文字資料研究の過去・現在・未来を検討することによって、旧来関わった多くの方々に参加していただき、現在の研究員とスタッフとともに非文字資料研究とは何か、本センターはどのようにあるべきかなどの意見交換ができれば幸いと存じます。

多勢の参加を歓迎します。

非文字資料研究センター長 小熊誠

お問い合わせ

神奈川大学非文字資料研究センター
〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1
Tel. 045-481-5661（内線3532）
Email himoji-info@kanagawa-u.ac.jp